



大仙市の資源ごみのリサイクルについて

【有償引き渡しによる収入】

《大仙市》

市の資源ごみの収集で集められた古紙類と、戸別収集で集められた金属製の粗大ごみが市内の再生事業者へ有償で引き渡され、その収入は、市のごみ収集委託料の財源に充てられています。

※H26年度の収入・・・約849万円（古紙類、粗大鉄類）

《大仙市美郷環境事業組合》

市の資源ごみの収集で集められた缶（アルミ・スチール）、ペットボトル、拠点回収されたペットボトルキャップ及び大仙美郷クリーンセンターへ直接搬入された古紙類については、大仙美郷クリーンセンターで選別、圧縮・梱包を行い、再生事業者へ有償で引き渡され、その収入は大仙美郷クリーンセンターの管理運営費に充てられています。

※H26年度の収入・・・約1,142万円（アルミ、鉄、古紙類等）

【無償での引き渡し】

- ・古布類については、大仙美郷クリーンセンターからの運搬を再生事業者が行うことで、無償で引き渡す契約を結んでいます。
- ・小型家電については、市が分別し、処理施設へ直接持ち込むことで処理費用が無償となる契約を結んでいます。

【収集及び処理を委託】 ※金額はH26年度実績

《大仙市》

拠点回収による発泡スチロール及び食品トレイについては、収集及び処理を市内の収集業者に委託しています。

- ・発泡スチロール・・・約43万8千円（収集委託料33万6千円、処理手数料10万2千円）
- ・食品トレイ・・・約61万2千円（収集委託料56万2千円、処理手数料5万円）

《大仙美郷環境事業組合》

計画収集により、缶と一緒に集められたびんは、大仙美郷クリーンセンターで選別、破碎後、再生事業者へ処理を委託し、砂の代替品として埋め戻し材などに再利用されています。

- ・びん（ガラス残渣再資源化）・・・約716万円（収集及び処理委託料）

《分類ごとの収集実績及びリサイクルの概要については、別紙をご覧ください。》